

第74回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年5月13日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配布資料

第74回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○政府現地対策本部

- ・現地対策本部より3点報告する。
- ・まず第1点、本日の閣議において復興業務法案が閣議決定され、本日国会に提出する。
- ・基本理念あるいは実際に講じる措置、負担や復興対策本部等の再生について盛り込んだもの。あわせて内閣法及び内閣設置法の一部改正法案ということで、今回の震災の復興にあわせ国務大臣あるいは副大臣、政務官等の増員をお願いする法案が閣議決定され、国会に提出される。
- ・2点目、昨日被災者に向けて「生活再建ハンドブック」、 「事業再建ハンドブック」を政府として取りまとめた。内容は、今回被害に遭われた個人の方あるいは事業主の方が今後事業・生活再建にしていくにあたりどのような取り組みがあり得るのかというのを今回の第一次補正予算の内容に則してわかりやすくご説明したもの。この内容について、首相官邸HPに紹介されているのでご覧ください。来週以降順次各都道府県あるいはコンビニエンスストア等で配布される。
- ・3点目、昨日東京において先般成立した財特法の内容に関する説明会が開催された。同じ

内容について今後宮城県においても県下市町村の方にもお集まり頂き、東京から使者を呼びご説明させて頂くべく現在県と準備を進めている。

○小野寺危機管理監

・人的被害は、昨日より死者1名増え8,840名である。行方不明者は5,889名である。

・避難者数は32,849名である。

・被害額は、土木部で増加し、トータルで2兆2900億円程である。

○今野総務部長

・クライスラー日本株式会社、公益財団法人日本財団より車の提供があった。

・地元の民放各4局を使い、震災に関するテレビスポットのCMを放送することにした。一つは自動車税について、自動車税の納税通知書の送付が8月以降になり、5月30日までの有効期限を10月30日まで延長することについての内容、もう一つは下水道の節水を呼びかけるというもの。自動車税については5月16日～29日まで63回、下水道については6月5日までの61回テレビCMで流したいと思っている。

○伊藤震災復興・企画部長

・昨日からの変更点なし。

○小泉環境生活部長

・福島原子力発電所に係る空間放射線モニタリングの結果については、前回と変化なし。

○岡部保健福祉部長

・人的被害、保育所関係で死者・行方不明者がそれぞれ2名ずつ確認された。

・災害ボランティアは、なんとか2,000名程の方に活動を行って頂いている状況が続い

ている。

○河端経済商工観光部長

- ・特に変更なし。

○千葉農林水産部長

- ・特段，変更なし。

○橋本土木部長

・公共土木施設に係る災害査定を5月10日～12日まで実施してもらった。今回査定の大
幅な簡素化ということでご配慮頂き，これに基づいて作業を実施して頂いた。非常にスムー
ズに査定が進んでいる状況。県分について95件で11億4千万程，市町村分について15
件で1億2300万程合わせて110件で12億6千万程の査定結果を頂いている。査定率
は，94.4%と非常に高い率である。

○三野宮出納局長

・出納局から県発注工事等の前金払いの特例措置についてお知らせする。今週から災害査定
がスタート，今後復旧・復興に向けた各種工事等が本格化，これら工事等の受注者の着工資
金の確保や労働者又は下請け企業等への早期支払いの促進等により，円滑な事業実施を図る
という観点から，東日本大震災に伴う特例措置として，県発注工事等の前金払いの割合を引
き上げることとした。具体的には資料のとおり。前金払いの割合の引き上げとして，請負代
金額150万以上の建設工事においては，従来の4割以内としていたものを5割以内とする。
測量や設計等建設関連業務については従来3割以内としていたものを4割以内とする。また
中間前金払いの対象拡大として，従前請負代金額500万以上且つ工期100日以上として
いたものを請負代金額300万円以上に改正する。特例の適用期間等については記載のとおり

り、これらの特例措置については国は4月下旬から既に適用されており、本県においても国に準じた形で行うこととした。

○自衛隊

- ・昨日の実績は、ご遺体等の収容等大きな変化はないが、入浴以外は若干減少傾向である。
- ・現在1階ロビーの左側に自衛隊の撮影による写真を展示している。自衛隊の活動のみならず、県警や消防局の皆さんと一緒に活動した写真を展示しているので、この後ご確認頂けると幸いである。

○竹内警察本部長

- ・ご遺体の関係は、昨日は10体収容、全体で8,973体収容である。
- ・引き渡しは8,973体のうち、引き渡したのは8,844体（引渡率98.6%）
- ・内訳は遺族7,551体（84.2%）、市町村1,293体（14.4%）

○小林教育委員会

- ・特に変更なし。

○伊藤企業局長

- ・特に変更はなし。

○村井災害対策本部長

- ・昨日、鳴子に行きまして2次避難所を激励しに行って来た。避難をされている方も非常に元気で、2次避難で鳴子に来て、かえって太ったという方も沢山いたため、大変安心した。1次避難所で頑張っておられる方もそれはそれで個人の自由ということでよろしいかと思う。しかし、なるべくならばそういう2次避難場所等に移って頂けるよう声掛けを頑張って頂きたいと思う。

・この会議だが、かなり報告だけということが多くなってきたため、来週から基本的に週の初めと中日ということで、月曜日と木曜日と週2回の開催にしていきたいと思う。まだ余震が続いているので状況によっては回数を増やすこともあると思うが、特段大きな変更が無い限りは月曜日と木曜日の朝10時に開催することにしたいと思う。それでよろしいか。それでは月曜日の朝10時ということでよろしくお願い申し上げます。

次回は5月16日10時00分に開催する。